

CASE STUDY

1

高知医療センター様

心臓カテーテル治療・検査環境における クリアトークカム導入について



2015年3月で開院10周年を迎え、【医療の質の向上】・【患者サービスの向上】を目標に、高知県の中核医療機関として良質で高度な医療を提供している高知医療センター様。中でも循環器病センターでは、心臓カテーテル治療および検査を実施し、常に体に優しく安全性の高い循環器治療を行っています。その大切な医療現場において、さらなる医療の質の向上を実現していくツールのひとつとして、クリアトークカムを採用いただきました。

導入により得られた効果

- ✓ 従来のスピーカー・マイクを利用したオペレーションと比べ、患者様に与える精神的な負担を減らすとともに、治療に関わるスタッフ全員の負担が減少している。
- ✓ 医療機器が動作する環境下でも問題なく使用できる。

繊細な対応の必要な医療現場で 高音質な双方向同時通話機能が効果を発揮



クリアトークカム導入前は、アンギオ室とオペレーターとのコミュニケーションにはマイクとスピーカーのシステムを利用していました。カテーテル現場においては、患者様にもスピーカーとマイクでの通話内容が聞こえてしまうという問題がありました。患者様の精神的な負担をなるべく軽減させるため、マイクとスピーカーでのやり取りを変える必要があり、色々和模索した結果、その手段の1つとしてインカム導入を検討したのです。

クリアトークカムは、明瞭な音声で双方向同時通話のグループ通話で、自由なコミュニケーションができます。マイクを近づければ小声でも会話出来るので、声量を抑えて会話しなければならない環境にも対応可能です。

導入効果として第一に、患者様に不安を与える要素が入った会話をスムーズに行えることで、治療・検査に集中出来るようになりました。当院での検査カテーテルでは、執刀医を1名として、もう1名がセカンドオペレーターとしてつきます。クリアトークカムを導入するまでは、アンギオ室に移動して指示をすることも多かったのですが、導入後は、入室せずに外からの確かな指示が出来るようになり、被曝しないで済むという利得もありました。また、医師同士のコミュニケーションをインカム装着者は全員聴けるため、記録スタッフを含めた全体の動きもかなりスムーズになったように思います。

医療機器への影響と音声品質への懸念も 安心できる試験結果と品質で解消

通信機器の導入ということで、医療機器に与える影響と受ける影響の懸念がありました。クリアトークカム以前に使用検討していた製品(2.4GHz帯域使用の簡易型インカム)は、実運用試験を始めた際、実際の環境下ではノイズが入り会話にならず、使用に耐えうるものではありませんでした。そこで、別製品の検討が必要となり、導入検討を始めましたが、クリアトークカムについても不安がありました。しかし、クリアトークカムは比較的混信が少ない5GHz帯域を利用しているとのことで、以前の機器と比べ、ノイズもなく明瞭な音声で快適に使用出来ております。



※クリアトークカムの使用する5GHz帯域は比較的混信が少なく、電子カルテのインフラでも多く使用されており、医療機器に与える影響は少ないという試験結果もでております。(電子カルテが使用しているチャンネルを避けてアンテナ設定をすることが可能です)

クリアトークカムは医療現場をサポートします

医療現場における、『オペレーションの向上・患者様へのサービス向上・環境改善』を実現していくために、クリアトークカムは、【医療現場の改善を図れる唯一のインカム】を目指し、少しでも医療機関の皆様のお役にたてるよう、価値を提供し続けていきます。